

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 27 日 作成  
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 1 日 作成

事務事業名		優良家庭等表彰事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名	上野 茂
	基本事業	43	病気になる生活習慣の確立	所属班	国保年金班	(内線)	2165
				法令根拠	合志市健康表彰規定		

予算科目	会計	10	款	8	項	1	目	1	事業連番	10362	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8	コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)													

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
 無受診世帯を表彰することによって健康意識の向上を図り医療費の削減につなげる。  
 【業務の流れ】  
 ①前年度医療機関の受診があるかどうかを調べる。②受診がなかった国保世帯に国保税の滞納がないか、介護サービスを受給されなかったかを調べる。③対象者に表彰状、記念品を贈る。  
 【主な予算費目】  
 08保健事業費 01保健衛生普及費 11需用費、消耗品費、印刷製本費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	同左	
2月に対象者に一斉送付。			
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	→ ア:送付国保世帯 世帯
		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	→ ア:国保世帯 世帯
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	→ ア:無受診世帯数 世帯
健康体である意識を向上させ、医療機関受診を抑止するため。		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	→ ア:栄養のバランスを考えて3度の食事を取っている市民の割合 %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)			→ イ:病気予防のために何らかの運動をしている市民の割合 %
健全な生活習慣を身につける。			

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  目 標 合 計 値 画  22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円			900	100	825	900	900	
	(A) 事業費計	千円	0	0	900	490	825	900	900	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	人			4	4	4	4	4	
正規職員従事人数	人			4	4	4	4	4		
延べ業務時間	時間			80	80	70	70	70		
(B) 人件費計	千円	0	0	318	318	279	279	279		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	1,218	808	1,104	1,179	1,179		
活動指標	ア: 世帯			200	156	180	200	220		
対象指標	ア: 世帯			7,130	8,873	9,300	9,500	9,800		
成果指標	ア: 世帯			250	156	220	300	320		
上位成果指標	ア: %	86.1	89.7	86.4	86.8	86.7	87			
	イ: %	42	43.4	46	39.9	48	50			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 平成12年度より実施。表彰することによって健康体である意識を向上させ、医療機関での受診を抑止するため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 旧町時代は健康福祉祭時に表彰状、記念品を贈呈していたが、その後は国保の世帯から代表者を決め、来庁していただき町長が直接贈呈し、また広報紙にも同意を得た方について名前と行政区を掲載していたが、役場に取りに来ることに消極的な意見があったため、平成18年度から宅配便にてカタログギフトに変えた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 継続希望の意見を聞いている。

事務事業名	優良家庭等表彰事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 健康体である意識を向上させ、医療機関受診を抑制する結果、安易な受診をなくすことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 健康体である意識を向上させ、医療機関受診を抑制することで医療費の削減につながる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 国民健康保険の加入者を対象とするので、国保税の未納者を対象から外すのは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 健康体である意識が薄れ、結果として受診が増えれば医療費に与える影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他には類似事業がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 表彰だけにとどめて記念品贈呈を止めることも不可能ではない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 今現在必要最低限で行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 国保加入者全員を対象としており公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性については、他自治体の状況も含め検討したい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 記念品の必要性を再検討。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

コストがかからず健康体である意識の向上を目指す方法。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	9	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )